
場所

ポルトガル中部地方

Constância

Constância

コンスタンシア 2つの川テージョ川（Rio Tejo）とゼーゼレ川（Rio Zêzere）の合流地点に位置するコンスタンシア（Constância）は、丘の斜面にきれいに並んだ白い家並みが美しい、特徴ある地形を有しています。町の特徴となっているその地理上の立地から、14世紀には重要な河川港の1つとなり、商業の要所としてにぎわいました。

コンスタンシアの名は、ルイス・ヴァス・デ・カモンイス（Luís Vaz de Camões）の名と切っても切れない関係にあります。16世紀の大詩人であり『ウズ・ルジアダス』（Os Lusíadas）の作者である彼は、生涯の一時をこの地で過ごしました。毎年6月10日には、この詩人をたたえ、中世の様子を再現した「ポモナス・カモニアナス」（Pomonas Camonianas）の祭りが開催されています。また、この他にも毎年恒例の祭りがあり、コンスタンシアの町に多くの人々を集めています。ノッサ・セニョーラ・ダ・ボア・ヴィアジェン祭（Festas de Nossa Senhora da Boa Viagem）（「よき旅の聖母祭」）はイースターの時期に行われます。町の通りは色鮮やかな紙飾りで彩られ、そこかしこのパールやレストランにはわかに活気づき、町全体が最高の華やぎを見せます。祭りが最高潮を迎えるのは、イースターの月曜日です。この日には、飾り立てられた船による行列が登場します。